

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	所沢市市民医療センター運営委員会
開 催 日 時	平成 2 5 年 8 月 2 9 日 (木) 午後 7 時 3 0 分から 午後 9 時 1 0 分
開 催 場 所	保健センター 3 0 1 会議室
出 席 者 の 氏 名	柳内仁、島田和浩、成宮学、野村總一郎、本多麻夫、河野嘉子、 内山武行、小島治子、扇原淳、安井知之
欠 席 者 の 氏 名	梨子田行孝、小林治、斉藤祐次、大崎映二、柏谷道正
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 決算状況及び平成 25 年度四半期状況について (2) 第二次所沢市市民医療センター改革プラン (素案) について (3) その他
会 議 資 料	所沢市市民医療センター決算状況 (資料 1) 平成 25 年度四半期状況 (資料 2) 第二次所沢市市民医療センター改革プラン (素案) (資料 3) 第二次所沢市市民医療センター改革プラン (素案) に対する 質問票 (資料 4) 第二次所沢市市民医療センター改革プラン (素案) の追加 資料 ((1) 計画の趣旨 . . .) 第二次所沢市市民医療センター改革プラン (素案) の追加 資料 (平成 24 年度 大分類別入院患者数)

担 当 部 課 名	センター長 藤塚聡 医務部長 野口友之 事務部長 小笠原彰 事務部総務課長 小峯英夫 事務部総務課主幹 森影和幸 事務部総務課副主幹 水村一男 事務部総務課主査 長沢勢以 市民医療センター事務部総務課 電話 0 4 - 2 9 9 2 - 1 1 5 1
-----------	---

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	傍聴人 1 名入室 配布資料の確認 資料 6 点及び委員名簿 配布漏れなし
会長	それでは、これより次第に基づき議事に入ります。 まず、事務局から議題 1 について説明をお願いいたします。
総務課長	今回、委員の皆様への資料の送付が遅れましたこと、誠に申し訳ございませんでした。 それでは、議題 1 決算状況及び平成 25 年度四半期状況について説明をさせていただきます。 （資料 1、資料 2 の説明を行う）
会長	ただ今、事務局から決算状況及び平成 25 年度四半期状況について説明がありましたが、何かご質問等がありますか。 特にないようですので、事務局から次の議題について説明をお願いいたします。
総務課長	それでは、議題 2 の第二次所沢市市民医療センター改革プラン（素案）について説明をさせていただきます。 （資料 3 の構成、追加資料の説明を行う）
会長	ただ今、事務局から第二次所沢市市民医療センター改革プラン（素案）の 1 ページ目について説明がありましたが、何かご意見、ご質問等がありますか。

委員	紹介入院患者数についてですが、当初の目標人数はどれくらいに設定しているのでしょうか。と言いますのは、この人数が多いのか少ないのか判断ができないからです。
事務部長	平成 22 年度から地域連携室が正式に稼働いたしました。それ以前はだいたい 60 名程度の人数で推移しておりました。ただ、導入時点での具体的な目標値は設定しておりませんでした。とにかく地域の医療機関との連携を強化して紹介患者を増やすことを目的で開始しておりますので、現計画の中におきましても、その体制については評価の最中であり、過渡期であると考えております。
委員	地域連携を強化することによる費用の増加が、赤字解消の妨げとなる要因の 1 つとなっていないかという懸念があります。
事務部長	地域連携室を設置することによる人件費につきましては、医療ソーシャルワーカーを 1 名配置いたしました。その分事務職を削減いたしましたので、増にはなっておりません。また、病棟看護師によるフォローも適宜行っておりますが、そちらも現体制の中で実施しております。
会長	他に何かありますでしょうか。
総務課長	1 ページの 2. の現改革プランの評価につきましては、個別の実績評価として 7 ページまで記載しておりますが、前回の会議で平成 23 年度までの実績について説明させていただきました。今回、あらためて文面作成と合わせまして紹介患者数などの具体的な数字につきましても掲載させていただきます。
事務部長	先程説明のありました計画の主旨につきまして、前回の文章が内容の乏しいものでありましたので、あらためて作成いたしました。このプランを初めて見られる方が、現在の社会情勢の中での所沢市市民医療センターが進むべき道を大まかにでもつかんでいただけるような分かりやすい主旨といたしました。

会長	それでは、続いて２ページ目、３ページ目の説明をお願いいたします。
総務課長	それでは、要点について簡単に説明させていただきます。 （資料３、２～７ページ目までを説明）
会長	ここまでで、何かご質問等がありますか。
委員	平均在院日数が減っていることが収益悪化の１つの要因とありますが、なぜ減っているかについては、２ページに退院支援の効果とあります。これは医療ソーシャルワーカーを配置したことによるものですか。
総務課長	医療ソーシャルワーカーの配置前は病棟の看護師長が業務の合間で退院支援を行っておりましたが、配置後は窓口が明確になったことで各医療機関との連絡がスムーズに行くようになりました。その効果もあったと考えております。
委員	医療的な意味や市民へのサービスという点から見るとよい効果が得られていると思いますが、純粋に収益性から考えた場合は、まずい結果ではないかと思います。やはりこの病院の入院部門の役割をもう一度見直すべきではないでしょうか。
委員	収益的に言えばもっと入院数を増やすべきであって、その場合は慢性医療、療養型への転換を考えた方が良いということになります。やはりこの病院の性質、あり方を検討すべきだと思います。
委員	前回の運営委員会でも同じようなことが指摘されております。やはりこの病院をどの方向にもっていくのかを位置づけないと、改善計画自体が本当に市民のための医療に必要なのがわからなくなります。 所沢市の医療計画がないとのことですが、医療センターから逆に市に対して提言してもよいのではないのでしょうか。その上で本当に市民にとって必要なものであれば赤字でも構わないと思います。

事務部長	委員の方々のご指摘の通りであります。これからの対策につきましては、12 ページ以降の重点対策項目の中で具体的にどのようなことに取り組んでいくか、またあらたな方向性について示していきたいと考えております。
委員	参考意見ですが、平均在院日数の減少についての書き方について、地域連携の推進面から言えば成果ということであればどのように明確に書いた方がよいのではないかと思います。
委員	9 ページの全国平均値との比較という表について、平成 24 年度の病床利用率が非常に低くなっています。これまでの説明で、地域連携の強化によって入院日数が減った、また医学の進歩という背景からも入院の減少は理解できますが、今後その傾向が続くのであれば、病床数自体を検討すべきだと思いますがいかがですか。
センター長	今の患者数が固定されていけば、病床数は多いと考えざるを得ないと思います。但し、今後在宅医療のバックアップを考えておりますし、現状の予測としては、非常に多くの潜在ニーズがあると判断しております。これまで病院としてそういった部分を明確に打ち出してこなかったこともありますので、その上でこの計画期間中も患者数が増えない場合には、縮小や転換も含めた病床数の検討が必要になると考えております。 実際、今年度に入って紹介患者数は急激に増えておりますし、今後超高齢化を迎える中で、2025 年には在宅医療を受診する患者数は今の 2 倍になると予想されています。そういったことも踏まえて、今後の推移から適切な病床数を検討していきたいと考えております。また、小児病床については防衛医大と西埼玉中央病院でカバーできない患者を補うことも検討しておりますので、今の稼働率からいくと病床数の削減はできないと考えております。
委員	保健所の立場から言いますと、1 病院の問題というよりも、地域全体で在宅医療の部分で協力してくれる医療機関を確保していくことが必要になってきますし、これからそういう体制を作っていく時代になってきております。また、一度病床数を減らしてしまいますと、再度増やすのは中々難しい状況ですので、もう少し様子を見た上で、潜在的ニーズがあるという予測の中でやってい

	ただいた方がよいと思います。
委員	地域包括支援センターで高齢者の方々と接する立場にいますが、地域連携室ができてソーシャルワーカーさん配置されたことで、非常に相談しやすく現場サイドでは非常に好評です。今後高齢者がますます増える中で、短期予約入院などは介護施設では受けてもらえない患者には有効で、入院数増加につながると思います。
会長	在院日数が減ったから収入が減ったというのは過渡期において致し方ないと思いますし、実際紹介患者は増えています。また、色々なことを始めた割には開業医に知られていないのが実態なのかも知れません。しかしながら在宅医療の後方支援病院としては非常にありがたい存在ですので、どんどんアピールしていただきたいを思います。
委員	センターの役割については積極的に市の方に説明していただいたらどうかと質問票には書きましたが、委員の皆さんのご意見は同じかと感じました。
事務部長	市の保健医療計画の検討は今年度からスタートして、実際には来年度から策定に入るのではないかと思います。センターの方が先行しておりますので、センターとしての役割、スタンスはプランの中で明確にしていきたいと考えております。 また先程ご指摘いただいたように、センター側からのPRが足りなかったと私共も認識しておりますので、地域連携室からの発信や地域包括支援センターとの意見交換会などの外部へのPRを推進していきます。
会長	それでは後半部分の説明をお願いいたします。
総務課長	それでは9ページの実績評価まではご意見を頂戴しましたので、以降、後半について説明いたします。 (資料3、9～10ページについて説明)
会長	今までのところで何かご質問等がありますか。

委員	内科の現状と課題の中で、病床利用率が 50%を切ったとなっておりますが、これは病床利用率を上げるという視点のみで表現されていると思いますので、今後市のニーズに応えていくなどの視点からの表現があってもよいのではないかと思います。
総務課長	頂いた質問票についてですが、A 委員から平成 24 年度の疾病別患者数を教えていただきたいとの質問をいただきました。こちらにつきましては、本日資料としてお配りいたしました。 また、B 委員からの質問票にて小児科の体制と地域連携体制の強化についてご意見をいただいております。
会長	他になければ次の 12 ページからの説明をお願いいたします。
総務課長	それでは、12 ページから 13 ページの重点対策項目についての説明をさせていただきます。 (資料 3、12～13 ページについて説明)
会長	これまでのところでご質問等いかがでしょうか。
委員	防衛医大では医療センターとの連携強化の必要性を感じております。これまでも小児科を中心に連携してきましたが、防衛医大としてもできていないことが結構あり、こういった部分を補う役割を担って欲しいを考えております。 現状、防衛医大から医療センターへの紹介は非常に少なく、今年で 4 例となっております。ただ内容としては非常にいい連携で、本例のような緩和ケアの実施をこれからも強化していただければ、防衛医大としても助かりますし患者の評価も非常にいいようです。その他にも連携した方よいと思われることは幾つかありますので、一度具体的なすり合わせをさせていただければと思います。
会長	その他にはよろしいでしょうか。よろしければ次の説明をお願いいたします。
総務課長	それでは 13 ページからご説明させていただきます。 (資料 3、13～15 ページについて説明)

会長	今の項に関して何かご質問はありますか。 改革プランの評価の体制についても合わせてご意見下さい。
事務部長	評価の体制につきましては、今後より深く、厳しい議論していただくことを目的としておりまして、5～6名の委員様で構成する予定であります。収支や計画の進行状況についてこまめに評価をいただいて、運営委員会での報告を予定しております。
会長	その他にはいかがでしょうか。評価の体制についてはいかがでしょうか。
委員	やり方はどんな形でもよいと思います。バランスよくうまく人選をしていただければよいと思います。
会長	それでは次の説明をお願いいたします。
総務課長	それでは15ページからご説明させていただきます。 具体的な数値に関しましては、今年度の決算確定後、詳細数値の精査を行っているところですので、あらためてご案内させていただきます。 (以降、資料3、16～17ページについて説明)
会長	今の項に関して何かご質問はありますか。 老朽化に伴う施設整備の予定はいかがですか。
総務課長	平成13年度に一度建物の耐震補強の改修を行っておりますが、内部の排水管や電気設備に関しては計画的に更新していく必要があると考えております。
会長	他になければ最後の項の説明をお願いいたします。
総務課長	それでは最後の18ページについて説明させていただきます。 (資料3、18ページについて説明)
会長	今まで全体通してでも結構です。何かご意見等がありますか。

総務課長	C 委員からの事前にいただいたご要望の中で、12 ページの地域連携部門の強化、在宅療養支援病院の機能充実という表現に続けて医療スタッフの充実という言葉を入れてはどうかというものがありました。それにつきましても何かご意見等いただければと思います。
委員	医療スタッフの方はもちろんレベルの高い方が揃っているとは思いますが、そこに一文入れるか入れないかで受ける側の印象が違ってくると思います。
総務課長	この部分につきましては、文面を再考いたしまして、事務局と会長様と相談のうえ、あらためてご提示させていただきます。
会長	以上で全体と通しての議論はしていただいたと思います。
総務課長	今回、資料の送付が遅れてしまいましたので、9月6日まで質問表でのご意見等をお受けしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
会長	その他によろしければ、議題3の説明をお願いいたします。
総務課長	次回の運営委員会につきましては、当初の予定より早めまして、10月末から11月上旬に開催させていただき、できましたら当初4回を予定しておりました委員会を計5回ということで予定させていただきたく考えております。
会長	よろしければ、議事を終了したいと思います。
センター長	お礼のご挨拶
	閉会のあいさつ 島田会長代理 閉会 以上